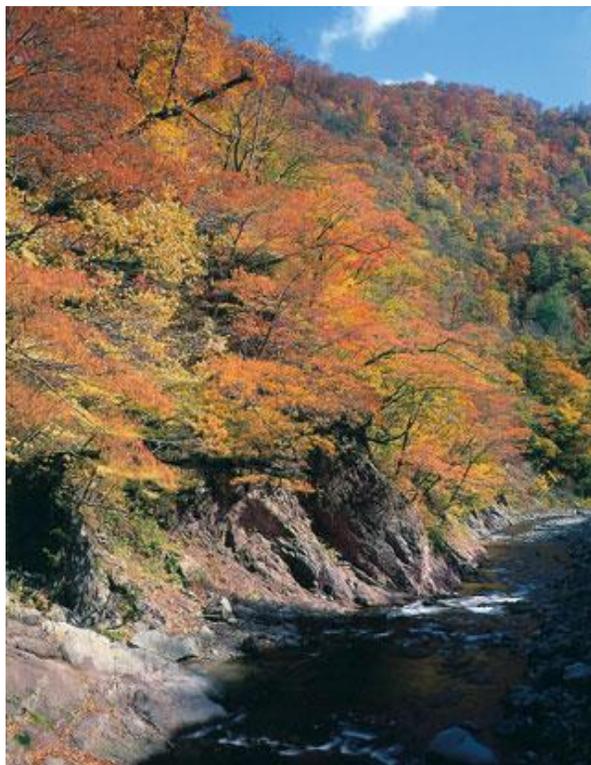


アストモスガス から版



横川溪谷の紅葉 宮城県刈田郡七ヶ宿町

見頃：10月上旬～11月下旬

紅葉の美しさは他では類を見ないといわれています。

白石川支流（横川）の溪谷でやまびこ吊り橋からの紅葉の眺めは絶景。遊歩道を散策しながら紅葉狩りを楽しみたい。遊歩道から長老湖へ行くことができます。

阿武隈川の紅葉

見頃 10月下旬～11月上旬

宮城県最南端の丸森町。1年中阿武隈ライン舟下りで溪谷の眺めが楽しめ、優雅な山の姿と時折現れる奇岩のコントラストが印象的。川沿いを鮮やかに彩る紅葉を見ながら、いも煮舟も楽しめる（3名以上で要予約）。11月は干し柿が家々の庭先にぶら下がる風景が町内の随所で見られ風情が感じられます。



2021年 11月号

・編集：アストモスリテイリング株式会社
東北カンパニー / 宮城支店

アウトドアカルチャーと災害の備え



近年のアウトドアブーム

2010年代前半から始まった第2次キャンプブームですが、オートキャンプ人口は、日本オートキャンプ協会発行の『オートキャンプ白書2020』によると、7年連続で増加し2019年時点で860万人に至っています。

アウトドアはブームから文化として定着したと言えます。この盛り上がりの背景として次のような要因があります。

- ①第1次キャンプブーム経験世代が大人になった。
- ②キャンプへの参加ハードルが下がった。
- ③SNSを通して情報の発信収集が容易になり、キャンプの魅力が伝わった。
- ④世界的な自然志向の高まり。
- ⑤防災意識の高まり。
- ⑥新型コロナの影響。

キャンプがブームを超えて文化となった理由

- ①他の業界との越境が進んでいる。
コロナ影響によりキャンプ需要が拡大した結果、自動車業界やファッション業界がキャンプ市場へ参入。また、アウトドアブランドの食品やインテリア等の他業種も進出し、相互に業界を盛り上げている。
- ②他のアクティビティとのクロスオーバーが加速。
釣り・自転車、サウナやカヌー、DIYを楽しむ方が増加。相互にユーザーを増やし、楽しみ方の多様化によりユーザー離れを置きにくくしている。

次頁へつづく

- ③ キャンプ人口や検索数がじわじわと増えている。
キャンプ人口や検索エンジンでの検索数は急には
なく、じわじわと増え続け一過性とは違いが有る。
- ④ 日本だけではなく海外でもキャンプ人口が増え続けて
いる。
中国や韓国、台湾、マレーシア等東南アジアでも人気が
加熱し、キャンプ用品の輸出入も増加の一途を辿り、
世界的に市場が拡大中。

人気のアウトドアグッズ



LEDランタン・真空マグカップ・キャンプエアマット
焚き火台・寝袋（シュラフ）・ウォータータンク
ポータブルバッテリー・ワンタッチフルクローズテント
ワンポールテント・テーブル・フォールディングコット
折りたたみいす・ヘッドライト・耐水圧レインウェア
クーラーBOX・タープテント・ダウンジャケット
薪キャリーワゴン・ハンモック・カセットガスバーナー
カセットグリルバーナー・アルミクッカーセット



アウトドアグッズは災害発生時に大変便利で
心強い『防災グッズ』に活用できます。

災害に備え再確認

令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ
避難指示で必ず避難

ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	これまでの避難情報等 災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	•避難指示(緊急) •避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 災害状況 悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後災害状 況化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確認し把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません!**

**避難勧告は廃止されます。**  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示**で  
**危険な場所から全員避難**  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難**で  
**危険な場所から避難**  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

# 指示に従い安全確保



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



## 行政が指定した避難場所への立退き避難



## 安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

## 安全なホテル・旅館への立退き避難



## 屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認する必要があります。

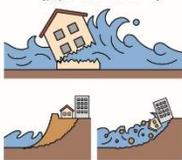
想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

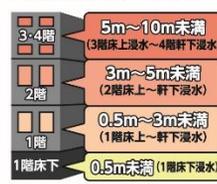
① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります

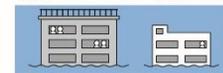
地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い



③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

# 近年の自然災害と停電発生状況

発生災害名	24時間以上停電発生戸数
令和元年 台風15号	関東地方を中心に最大約93万戸の停電発生。1週間で9割復旧も8万戸停電継続。最終復旧まで2週間以上。
平成30年 台風21号	関西地方を中心に2週間にわたり最大約240万戸の停電発生。ピーク時大阪で約100万戸、和歌山で全世帯の半数で停電発生。
平成30年 台風24号	中部及び九州・沖縄地方中心で1週間にわたり最大約180万戸の停電発生。ピーク時沖縄・静岡全世帯の半数で停電。
北海道胆振 東部地震	2日間にわたり最大約295万戸が停電。 北海道全域が停電するという異例の事態が発生。

## 安全確保後の、復旧に向けた自宅生活では『非常時の備え』が災害対策の重要な要素

1. 灯りの確保：安全安心不安の解消
2. 情報収集・連絡の為のスマートフォン充電：不安の解消
3. 暑さ対策・寒さ対策：体調維持
4. 食事の確保：生命維持・体調維持
5. 清潔・癒しの確保：体調維持・不安の解消

お客様の生活に密着している『LPガス販売事業者』だからこそ出来る『安全・安心』のご提供。趣味や仕事の中で得た知識を活用し裾野を広げる事が出来るのではないのでしょうか。又、お客様からもお気軽に『あんな事・こんな事・こんな事で・・・』もお声掛け頂き、共に『安全・安心』の獲得に努めてみましょう。

暮らし

# 11月の歳時記

霜月(しもつき)

## ◎七五三

子供のこれまでの健やかな成長に感謝すると同時に、これからの幸せや長寿を願う行事。

## ◎暖房器具の準備

立冬より初冬を迎え、朝晩の冷え込みが厳しくなる時期です。  
ガスファンヒーター、灯油ストーブ、エアコンの掃除と試運転や買替時期。  
※ガスファンヒーターを絶賛お薦め販売中。ご購入最後のチャンス時期。  
(数に限りがあります。)

## ◎年賀・欠礼状の準備

平安時代に始まった年始の挨拶文。お世話になった方々や大切な方、親族への「年始回り」の代わり。手書きや印刷等々、早めに準備しましょう。

## ◎インフルエンザの予防接種

新型コロナに隠れていますが、発病すると大変な病気です。  
予防接種で自分と、周囲の大切な方々を守りましょう。

## 見て・聞いて・知って あすともす



スマホでGO

カンパニー便り  
更新のご案内♪



年末の大掃除であわてない！11月からの「ちょっと大掃除」は？ ↓こちら↓から♪

